

ガスパル九州熱気球プロジェクト“Than 九(サンキュー)号”が 第40回佐賀インターナショナルバルーンフェスタに初参加！

このたび、ガスパル九州熱気球プロジェクト“Than 九号”が、第40回佐賀インターナショナルバルーンフェスタ(第33回パシフィック・カップ)に参加しましたので、お知らせ致します。

記

1. 佐賀インターナショナルバルーンフェスタについて

毎年秋に佐賀市内で開催される、熱気球競技大会としては、アジア最大級の参加機数を誇る大会です。今年度は40回目の記念大会にあたり、10月31日(木)～11月5日(火)の5日間(競技は31日～4日の4日間)に熱戦が繰り広げられました。Than 九号は、このバルーンフェスタ内で行われた「第33回パシフィック・カップ」に競技参加(初参加)しました。



ガスパル九州 Than 九号



ラ・モンゴルフィエ・ノクチューン(夜間係留)の様子

2. ガスパル九州熱気球プロジェクトについて

「夢を、カタチに」を合言葉に、地元九州への地域貢献とガスパル九州社員連帯感のシンボルとして誕生した“Than 九号”。九州は佐賀県を中心として全国的にも熱気球が盛んなエリアですが、九州の皆様は「ガスパル」の名に親しんでいただき、そしてプロジェクトを通じてガスパル九州社員の連帯感を高めることを目的に2017年3月にスタートしたのが“ガスパル九州熱気球プロジェクト”です。

熱気球など全く携わったことのないガスパル社員がゼロの状態から始め、今年「佐賀インターナショナルバルーンフェスタ」に参加することでできたのも、気球製作にあたっては、バルーン工房 Wind Road 様、気球運用にあたっては、宮崎大学気球部様の全面的なご支援が不可欠でした。

今後も、ガスパル九州“Than 九号”は、競技の出場や係留飛行等のイベントを通じてより一層、九州の皆様は親しんでいただくべく、積極的な活動を展開して参ります。

以上